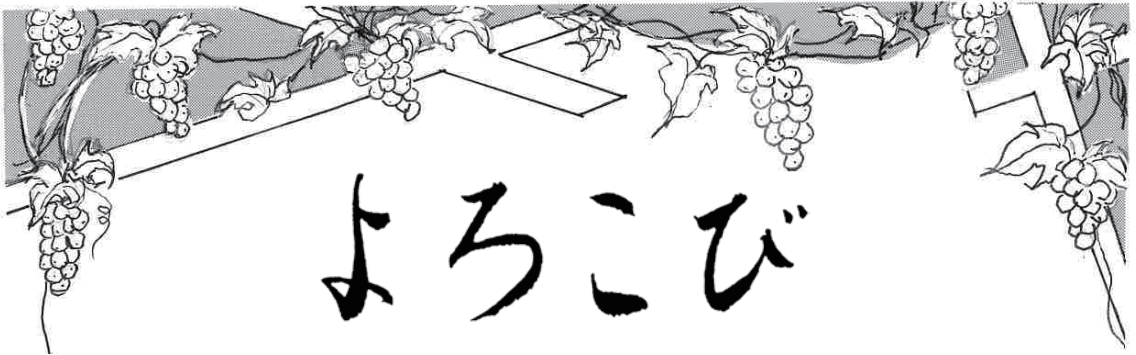




2021.6.20 第 129 号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信



岩田 昌路 牧師

聖霊の助けと執り成し

西東京教区・狛江教会牧師

岩田 昌路

私たちはすでに一年以上、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）という大きな苦難の中を歩み続けています。この苦難によって世界が大混乱に陥り、私たちの日常生活も一変しました。教会も正解のない問いのもと苦悩し迷いつつ歩み続けてきました。最近ようやく日本社会でもワクチン接種が開始されましたが、忍耐の時はしば

らく続くと思われず。

本稿は聖霊降臨日の恵みの中で書き記しています。聖霊なる神が苦難に生きる私たちを支えて下さるといふ恵みを巻頭言で共に確認することを示されました。

使徒パウロはローマの信徒への手紙で「同様に、霊も弱いわたしたちを助けてくださいます。」（8章26節）と証言しています。パウロは私たちの弱さを自覚しています。それは私たちが信仰生活の中でこそ深く自覚させられる弱さです。聖句の前後の文脈から、神が約束された希望を忍耐して待ち望めなくなる弱さ、私たちがどう祈るべきかわからず祈ることができな

くなる弱さというものを読み取ることができません。これらの弱さは人間の罪の由来する弱さです。パウロもその弱さに打ちひしがれる経験を何度もしたのです。全世界に苦しみがあり、被造物は虚無に服し、共にうめきを味わっています。新型コロナウイルスによる苦難のみならず、私たちは人生の中でさまざまな苦難に直面させられます。そこで、私たちはしばしば神に心を向けられなくなり、希望を見失い、忍耐できなくなり、祈れなくなるのです。しかし、パウロはそのような人間の弱さを自覚しつつ、聖霊が私たちと共におられ、私たちの弱さを代わりに引き受けて下さる

と確信しているのです。

私たちの救いは神の愛する独り子イエス・キリストの苦難と死、復活と昇天の出来事によって成就しました。私たちは主イエス・キリストこそ神と人間の間を執り成す永遠の大祭司であることを知っています。しかし、同時に聖霊の助けと執り成しを想起する時、私たちは深い慰めと励ましを与えられるのです。聖霊なる神は私たちの信仰生活の全てを支えて下さるのです。

聖霊によらなければ、誰も「イエスは主である」と告白することはできず、神に「アッバ、父よ」と呼びかけることもできません。聖霊は私たち一人一人に、主イエス・キリストの救いを実現して下さいます。また、聖霊は御言葉と聖礼典により私たちが罪を赦され、永遠の命に生きる神の子とされた恵みを絶えず想起させて下さいます。そのようにして、私たちは聖霊の導きによって苦難を耐え抜く力を

与えられるのです。

今秋、狛江教会は創立65周年を迎えます。初代の渡邊保牧師は病床洗礼で救われ、戦後の開拓伝道に従事されました。渡邊保牧師の召天後に教会が説教集を刊行しました。背表紙に『賜物としての苦難』とあり、収録した一つの説教の題がこの説教集の題となりました。『賜物としての苦難』は狛江教会に息づく信仰の言葉です。教会員には使徒パウロが続いて語る言葉を愛唱聖句とする者たちが多くあります。「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。」(8章28節)聖霊の助けと執り成しを深く受けとめる時、苦難の時は新たな悔い改めと目覚めの機会と変えられます。そして、パウロの「わたしは弱いときにこそ強い」(コリントの信徒への手紙二12章10節)という証言

を、私たちの証言とすることができるようになるのです。

年金局・『隠退教師を支える運動』の働きも聖霊の助けと執り成しによって継続される愛の業です。聖霊なる神は私たちを用いて、私たちを通して、豊かに御業を行われまします。そうであるなら、私たちは心を合わせて力の限りにこの愛の業に仕えていきたいと願うのです。

(いわた まさみち)



「隠退教師を支える運動・100円献金」

隠退教師を支える運動

御業の広がり

西東京教区推進員

西村 佳子

昨年より蔓延が始まったコロナ禍は、すべての活動に影響を及ぼし不安をもたらしています。キリスト者として大切にしている聖日毎の礼拝はもとより、委員会活動もまた、変則的な状況になっています。そのような中にあっても、だからこそ尚、信仰を賜った者として、小さな務めを精一杯果たして参りたいと思っています。

私が属する西東京教区は、今から23年前に教団の17番目の教区として、おおよそ100教会を有し発足致しました。この教区内の青梅市に60数年前、隠退教職ホーム「信愛荘」が開設され、後に婦人教職ホーム「にじのいえ」と合併、現在は「にじのいえ信愛荘」として存続しています。顧みますと私は、隠退され

た先生方のことに心を置き続けることを主から命じられたのかもしれない。一九九七年に新たに発足した信愛荘の運営委員を仰せつかつてから24年になりますし、二〇〇六年からの「隠退教師を支える運動」全教区推進協議会で用いた大切な参加資料も手元に残っています。

さて、私は推進委員の田

口千恵子さんと共に「支える運動」をご理解頂くために、教区総会や婦人全体集会等でアピールをさせて頂いたり、時には座談会を設け、故森啓一兄、滝川英子姉をお招きし半日ゆつくり年金制度や支える運動について詳しく伺いま



西村 佳子 さん

した。いまだに専門的な知識の習得には至っておりませんが、回を重ねるに従って「支える運動」の大切さを少しずつ自覚させて頂いています。

この運動の募金方法について、最近とくに感じるのですが、募金額を一〇〇円としている点が良いと思います。無理強いをしない、誰でもができる、そして続けて行く中に、隠退された先生方のことを

を想い、現職の先生のために祈り、福音伝道が広げられるようにと心から願う。そしてまた、私の教会では、この一〇〇円献金が、他の募金に先駆けて始められたこともあって、後に「西東京伝道献金」「東京神学大学献金」「望みの門献金」等々、少額であっても、そこに心を向ける点で理解が深まり、信仰生活を実りある方向へと向かわせているように思います。

何年前になるでしょうか、私の教会にお父上が牧師であったご婦人が、未信者の夫と共に転会してこられました。すぐにご奉仕を申し出られ

「隠退教師を支える献金」の係を担って下さいました。間もなく御夫君は洗礼を受け、いつの間にか御夫君が甲斐甲斐しくオレンジ色の献金袋を週報ボックスに戻す作業をして下さっているではありませんか！また、「にじのいえ信愛荘」への献金担当は若い婦人が担って下さり、最近では献金袋が返される時、丁寧な報告と感謝の言葉が添えられています。捧げられる献金は勿論尊いものですが、それに関わる奉仕者をも育て給う神様の御業に感謝の他ありません。縦横無尽に張り巡らされた神の御愛を受けて働く人のいとなみが、今後もずっと続けられますことを心から祈ります。

(にしむら よしこ／伯江教会)

業 務 室 よ り

— 年金を受けている方へ — 年金送付のお知らせ

7月の定例給付のご案内をします。

送 金 内 容

①謝恩金受給者

2021年度第2期分給付
(2021年7・8・9月分)

②退職年金受給者

2021年度第1期分給付
(2021年4・5・6月分)

送 金 日 2021年7月9日(金)

期日に、ご指定の金融機関に入金されていない場合は、ご連絡ください。

次 回 送 金 2021年10月8日(金)

連絡先・年金振込先の変更は、できる限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れかで、年金局までお知らせください。

☆ 2020年度年金局事業・決算報告がまとまりました。以下、概要を感謝をもってご報告いたします。2020年度は714名の隠退教師・ご遺族(年度末現在)に総額4億4722万円の年金を支給いたしました。一方、掛金収入は3億1976万円でその差1億2746万円は「謝恩日献金」「隠退教師を支える運動・100円献金」、資産運用益等で補われています。「謝恩日献金」の総額は4110万円で983教会から献げられました。また「隠退教師を支える運動・100円献金」は6352万円が916教会から献げられました。(詳細は教団新報4948・49号の中ほどの年金特集73号をご覧ください。)コロナ禍による影響下で全国の教会・伝道所がお寄せくださった祈りと献金は、教団教師退

職年金制度の大きな支えとなります。資産運用益も、特に先行きの危ぶまれる環境でしたが、目標額の163%、5210万円を計上することができました。「支える運動」からの多額な繰入金、教区協力金、教団からの繰入金、特別献金などのおかげで、2020年度の収支差額3102万円を積立金に繰り入れ、退職年金積立金は43億4517万円となりました。(詳細は、秋に発行される教団新報・年金特集74号に掲載いたします。)

☆この春隠退され、教団年金受給者になられた方は、現時点で9名、平均年齢は78歳です。再隠退された方は1名です。

☆東中国教区の代表理事が佐藤孝志氏(琴浦教会信徒)から宮脇俊昭氏(倉敷教会信徒)に、東京教区西南支区代表が北川正弥牧師(代々木中部教会)から川村尚弘牧師(駒場エデン教会)に、監事が岩澤嵩氏(銀座教会信徒)から七條真明牧師(高井戸教会)に、それぞれ交替されました。前任の方々の貴いお働きに感謝いたします。

☆現況届のご提出いただき、ありがとうございました。今年度より「緊急連絡先」の記載をお願いすることになりました。入院、転居等でご本人と連絡がとれない場合にのみ使用させていただきます。多くの方がご協力いただき、感謝いたします。

☆各地で新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりました。まだまだ以前の状況に戻る日は遠いようですが、みなさまが健康で穏やかな毎日を過ごせるよう、主のお守りをお祈り申し上げます。

(村山めぐみ)

日 本 基 督 教 団 年 金 局 「隠退教師を支える運動」推進委員会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

年金局 Tel: 03(3202)2080

mail: nenkin@uccj.org

支える運動 Tel: 03(3232)8005

mail: sasae100@uccj.org

Fax(両局兼用): 03(3202)2081